

## 前文の議論の概要

## Aグループ（前文（条文にも？））

町並みをきれいに・美幌町をアピールできる景観づくり

わかりやすい美幌町（案内表示の充実）

まちのPR・行政からの情報発信の充実（特産品等の開発）

世代間・町内の団体間・異業種間の交流（若い世代との意見・情報交換）

一人一役の推進（全町民が参加）

まずは、声かけから！

町民憲章を参考に子どもも理解できる簡単でわかりやすい表現

## Bグループ

シンプルでわかりやすいもの

条例が最高法規であること

揺るぎないまちづくりの姿勢

住民が自ら治めるまちづくり

自治会と行政が向かいあう

美幌町の歴史

条例の目次のようなイメージ

まちを発展させていくのは自分達

自治基本条例の精神が讃えられるもの

まちの発展を望み、みんなでまちづくりをする決意

最高規範である規定は必要か？

挨拶 100%のまち宣言

## Cグループ

町民憲章の前文にある文言を導入

総合計画の要素を取り込む

挨拶や会話が重要

マナーを守るまち

環境をアピールするまち

ゴミゼロのまちを宣言

環境色を盛り込む（森林認証を活用）

町民があいさつを気軽にできるまち

環境問題に対する姿勢（森林認証を含め）

安心・安全のまち

町民相互の幸せ・明るい町

美幌らしいもの

町民がやる気を起こす内容に

あるべき自治の姿と理念

役場にやってもらうのではなく、町民みんなが行う